



万が一に備えることの大切さ

4月25日（火）の参観日、引渡し訓練、お世話になりました。参観授業では、子どもたちが一生懸命学習に取り組む様子を見ていただきました。来月には運動会がありますので、子どもたちが、体で表現する姿を見ていただきたいと思います。

引渡し訓練もスムーズに行うことができました。ご協力ありがとうございました。今回は、その引渡し訓練や4月19日（水）に行った避難訓練に関する話題です。

今回行った避難訓練は、地震とそれによる火災を想定したものです。地震が起きた際には、落下物や転倒するものがないことを確認して、頭を守る姿勢（ダンゴムシのポーズ）をとります。机があればその下に隠れて、その脚を持って揺れても対応できるようにします。緊急地震速報が流れれば、屋内外問わずすぐその姿勢をとることが大切です。とにかく頭を守ることが先決です。

南海トラフ地震は、今後30年以内に発生する確率が70から80%であると言われていています。気象庁のHPでは、毎月、南海トラフ地震に関する情報が提示されています。いつ、大きな地震が起きてもおかしくないなので、それに備えておく必要があります。

子どもたちには、避難訓練の際に話をしましたが、地震は、授業中に起こるわけではありません。給食中、休憩中、トイレに行っているとき、登下校中…、このようなときに起きたらどのように行動すればよいでしょうか。いろいろな場合を想定しながら、地震に備えておくことは、とても大事なことです。

引渡し訓練も同様です。今回は、万が一の場合の手順を確認しましたが、実施には、学校まで来るのに時間が掛かるでしょうし、学校の方が安全なので、そのまま

待機という場合もあるでしょう。大きな災害が起きれば通信手段も通常通り使えるとは限りません。日頃から、ご家庭でも地震が起きたらどのように行動するのか、話し合っただけだとは思いますが、万が一の際の避難場所、連絡手段、避難経路の確認をしてみてください。また、防災用品の準備も必要です。少なくとも3日分の食料、飲料が必要とも言われて

ています。携帯トイレや防寒用品も必需品です。4年生の社会科で防災に関する学習をしますが、今回の引渡し訓練や避難訓練を基にして、ご家庭でも防災について考えてみてはいかがでしょうか。

